

# 大山オオタカの森猛禽類モニタリング調査業務仕様書

## 1 業務目的

令和6年2月に自然共生サイトに登録された大山オオタカの森では、令和10年度の更新に向け、生物多様性が維持されているかをモニタリングする必要があり、当該地への飛翔が確認されているオオタカ及び希少猛禽類の生息・営巣状況の調査を行う。

## 2 業務期間

令和8年4月1日から令和8年7月31日まで

## 3 業務場所

西伯郡大山町豊房内（別添図面のとおり）

## 4 業務内容

### （1）計画準備

既存資料を確認したうえで現地踏査を行い、調査地域でのオオタカの繁殖が確認できるよう、調査時期、調査方法、調査定点等の調査計画の立案を行う。

### （2）現地調査

主対象は「大山オオタカの森」に生息するオオタカとし、オオタカの繁殖状況、営巣地の確認を行う。また、希少猛禽類及びレッドデータブック等で選定されているその他の希少猛禽類についても補足的に確認する。

調査期間、調査頻度、調査地点、調査方法は、以下のとおりとする。

調査期間：4月～6月（3ヶ月）

調査頻度：月1回、2日間連続／回（調査時間：8時～16時）

調査地点：2定点

調査方法：定点記録法により、調査定点からオオタカの出現状況等を広範囲に調査し、確認状況を記録する。また、計画準備で明らかになった状況に応じて移動観察法等を用いる。

### （3）結果報告

GPS等によるオオタカの営巣木位置の記録、個体写真等の個体識別情報を整理し、発注者へ報告する。

### （4）打合せ等

業務着手時、完了時の計2回を想定している。

打合せには管理技術者が出席するものとする。

## 5 その他

（1）業務はオオタカ及び希少猛禽類等への十分な配慮をするため大山オオタカの森に知見のある大山オオタカの森保護員と十分な連絡・調整を行いながら実施する。

（2）本仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、発注者と協議の上決定するものとする。